

守山市長期ビジョン2035

NEWS LETTER

vol.

1

2024年11月発行

発行者:

守山市総合政策部企画政策課

10年先の守山の将来像や方向性を描く「守山市長期ビジョン2035」の策定に向けた検討がスタートしました。

『わ』で輝かせようふるさと守山」を基本理念とする第5次総合計画が令和7年度で終了するため、これから2年をかけ、令和8年度からの10年間のまちづくりの指針となる長期ビジョンの策定に取り組めます。

計画の期間と策定の流れ

第5次総合計画(H23～R7)15年間

関連計画

第1期地方創生総合戦略
(H27～R1)

第2期地方創生総合戦略
(R2～R6)

1年
延長

策定
(R6・R7)

市民の皆さま
の参加機会

- ・市民・中学生アンケート 実施済
- ・ワークショップ(2024.9～2025.1)
- ・パブリックコメント(2025.10)など

長期ビジョン2035(次期総合計画)
(R8～R17)10年間

※第3期地方創生総合戦略は、
長期ビジョンと一体化して策定

新しいまちづくり が始まりました



もりやまの未来

守山市長期ビジョン2035策定PROJECT

長期ビジョンって?

長期ビジョンは、10年後に守山市がどんなまちになりたいか、まちづくりの方向性を示す指針で、市の最も重要な計画です。これまで取り組んできたまちづくりに市民のニーズ等を反映させ、みんなで共有できる守山市がめざす将来の姿を具体的に描き、その実現に向けた方向性をまとめます。

市民ワークショップがスタート!

守山市では、「守山市長期ビジョン2035」の策定を進めており、
ビジョンに市民の皆さんの意見を反映するため、市民ワークショップを開催しています。
前期ワークショップでは16歳から79歳の市民4,000人(無作為抽出)に案内を送り、
応募があった75名の方に参加いただきました。



ワークショップのスケジュールと長期ビジョンへの意見反映イメージ

前期WS

第1回(9/29)
第2回(10/6)

＜まちへの思いを幅広く抽出する＞

- 守山市ってどんなまち(現状把握)
- 10年後の守山市のイメージ



後期WS

第3回
(11/16)

＜まちづくり分野別に課題を掘り下げる＞

- 分野ごとのありたい姿(課題、方向性)



後期WS

第3回
(11/16)

＜守山市が目指す方向を考える＞

- 守山市の「あるべき姿」
まちづくりの視点、そこに込める言葉や思いをまとめる

長期ビジョン2035

(構成・内容は例示)

将来の都市像



目指す将来像に向けた施策

戦略目標・
施策の方向性

土地利用方針 人口ビジョン

取り巻く環境の変化、課題



前期ワークショップ開催報告

テーマ: 守山ってどんなまち

第1回 2024年9月29日(日) もりやまエコパーク交流拠点施設

第2回 2024年10月6日(日) 守山市コミュニティ防災センター

前期ワークショップは、9/29、10/6に北部と南部で同一内容で各1回開催しました。

高校生から70代の方まで2日間で75名の方に参加いただき、「守山ってどんなまち」をテーマに、市のよいところや気になるところ、10年後の守山のイメー

ジについて、テーブルにわかれて話し合いました。

各テーブルのファシリテーターは、過去にファシリテーター養成講座を受講した市民や守山市と連携協力に関する協定書を締結している龍谷大学の学生が担いました。



説明

長期ビジョンやまちづくりの現状について市職員が簡単に説明

アイスブレイク

テーブルごとに自己紹介を兼ねて、それぞれのマイブームや守山市のおすすめを紹介



緊張がとけて話しやすい雰囲気!

ステップ1

「守山のよいところ、気になるところ」

テーブルワークで、守山の「よいところ、好きなところ」や「気になるところ、悪いところ」をまずは各自でふせんに書いて意見を出していきます。

それぞれのふせんをグループで共有し、意見交換をしながら分野ごとにまとめていくと、模造紙がいっぱいになりました。



森中市長も飛び入り参加!

ステップ2

「10年後の守山のイメージ」

10年後にどんなまちになってほしいかを、ふせんに書いて意見を出していきます。



発表

グループごとに話し合いの成果を発表し、全体で意見を共有しました。



参加してみよう



達成感や満足感を感じることができました。こういう場に参加することで、守山市の横のつながりや縦のつながりができてさらに良いまちになると思います。



ワークショップは初めてでしたが、参加することで、一人の市民として市政に参加していると感じる事ができて良かったです。

前期ワークショップでは、自然、子育て、医療、交通、商業・賑わい、コミュニティなど幅広い分野の意見がたくさんでました。この結果をもとに、次回(第3回)は、まちづくりの分野別に掘り下げていきます。